

令和3年度「彦根市子ども・若者支援地域協議会」活動計画・実施経過

1 彦根市子ども・若者支援地域協議会

(1)彦根市子ども・若者支援地域協議会 代表者会議

回	日付・時間・場所	内容	備考
1	令和4年3月23日(水) 13時30分～14時30分 障害者福祉センター	(1)副会長の指名、(2)「彦根市子ども・若者支援地域協議会」・「令和3年度彦根市子ども・若者支援地域協議会活動報告」、(3)若者への支援に関するアンケート調査結果、(4)令和4年度彦根市子ども・若者支援地域協議会活動計画(予定)	19名出席

(2)彦根市子ども・若者支援地域協議会 実務者会議

回	日付・時間・場所	内容	備考
1	令和3年10月14日(金) 13時30分～15時30分 福祉センター	1 令和2年度彦根市子ども・若者支援地域協議会の振り返り 2 グループディスカッション ●令和3年度のテーマ、実務者会議での取組内容について ア ひきこもり当事者へのアンケートについて ・ターゲット(15歳以上の若年層、無業・孤立状態にある(あった)人) イ ネットワーク、情報共有のツール(名簿等)の作成について	26名出席
2	令和4年2月4日(金) 13時30分～15時30分 福祉センター	1 「若者への支援に関するアンケート調査」結果について 2 令和4年度に向けての課題について 3 ネットワーク、情報共有のツール(名簿等)の照会について	20名出席
3	令和4年2月9日(水) 10時00分～11時30分	サロン情報交換会 ※サロン活動に参加する利用者(発達障害を抱える利用者)のケース会議	10名出席

令和3年度取組概要

重点化(フォーカス)する取組:「サロン活動」、「居場所」(令和2年度から継続)

昨年度からの課題:当事者の声を聴けていない。当事者の意見を拾い上げる。

課題に対する取組事項

○アンケート調査を実施

「若者への支援に関するアンケート調査」を実施。

1 調査の目的

本市におけるひきこもり状態をはじめとする生きづらさを抱える子ども・若者に対する支援については、関係機関(サロン、居場所、各種相談支援事業所)や団体から意見や要望を受けて向上に努めてきました。そのなかで、実際に生きづらさを抱える若者(当事者)から、必要としている支援や活動、要望について意見を拾い上げることで、支援者と若者(当事者)の支援に対する認識のずれを把握し、より一層の支援向上を目的とする。

2 調査対象

ひきこもりなど、何らかの生きづらさを抱える若者。(おおむね15から39歳。)

3 調査方法

ご協力いただける関係機関から当事者へアンケート用紙の配布および市ホームページの電子申請を利用したオンライン回答による無記名アンケート。

4 調査期間

令和3年11月1日(月曜日)から同年11月30日(火曜日)まで

5 調査用紙の回収方法

紙媒体については、郵送、持参および本市職員が回収に回る。電子申請は回収不要。

6 回答数

69件(紙媒体42件、電子申請27件)

7 調査結果

別紙のとおり

○「サロン活動」、「居場所」(重点取組)の情報交換会

助言者:滋賀県立大学 原 未来准教授

発達支援センター 前係長、五十嵐主任

ケース会議(ケース検討)2件

テーマ「発達障害を抱えた若者(利用者)への支援」

○周知・啓発に関する取組

- ・ガイドブック・支援マップづくり※彦根市ホームページへ掲載
- ・各種事業周知用チラシ・ホームページづくり
- ・広報ひこね掲載(子ども・若者総合相談、通信サロンは毎月掲載)
- ・子ども・若者支援地域協議会
- ・その他関係会議

○彦根市子どもの貧困対策推進の庁内連携

- ・子ども・若者総合相談センター、社会福祉協議会、子ども・若者課 情報交換会
- ・子ども・若者支援地域協議会実務者会議
- ・彦根市生活困窮者相談推進委員会
(生活困窮者担当部会:生活困窮者等子どもの支援担当部会)